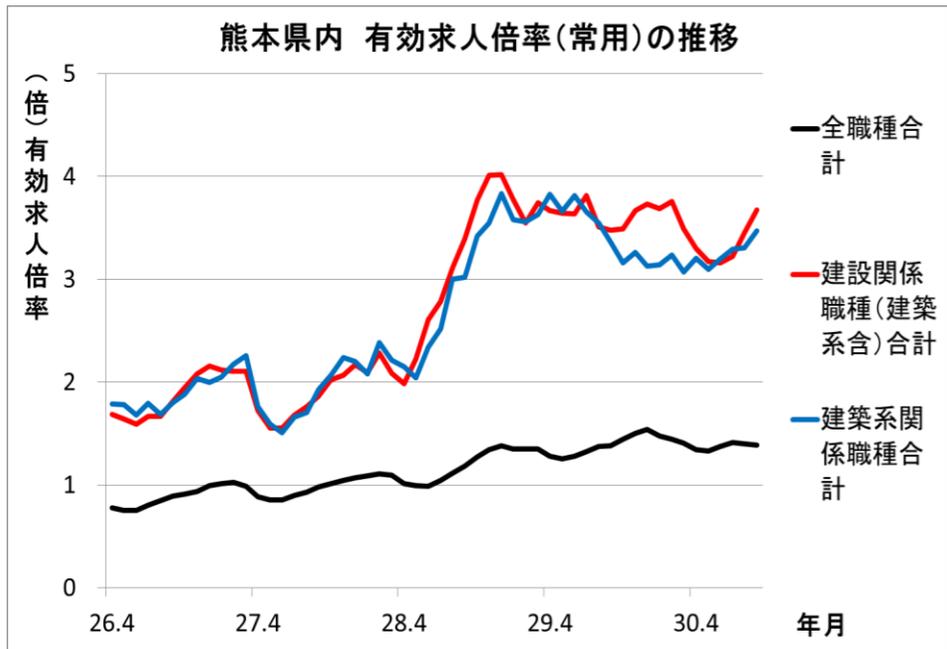


1 人手不足感が顕著な技能士(建築系職種)

県内の就業者数

	男女合計	男	女
全職種合計	831,800	441,200	390,600
うち建設関係職種(建築系含)合計	50,040	48,460	1,590
うち建築系関係職種合計	24,790	24,160	640

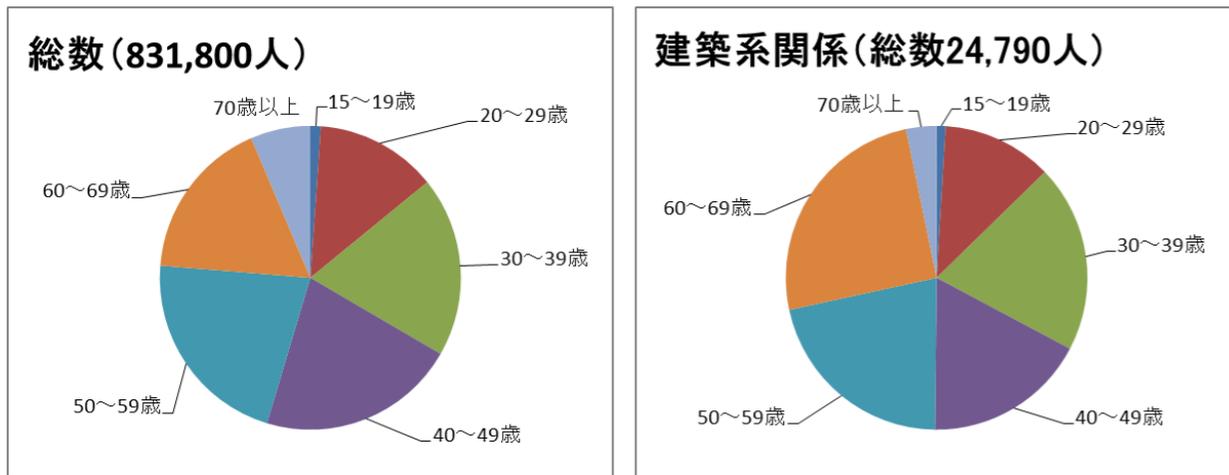
※平成27年国勢調査データを元に労働雇用創生課で集計



※熊本労働局データを元に労働雇用創生課で作成

2 技能士の高齢化

建築系職種の従業者の約半数は50歳以上。
全職種合計との比較でも業界の高齢化が窺える。



※平成27年国勢調査データを元に労働雇用創生課で作成

3 外国人材に対するニーズ

本県に在留する外国人の伸び率は全国第一位
特に外国人技能実習生が大幅増(4年で倍増)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
外国人人口	9,410	9,896	10,606	11,498	13,411
人口増加率	—	5.16%	7.17%	8.41%	16.64%
外国人労働者数	3,798	4,416	5,159	6,422	7,743
うち技能実習生数	2,234	2,493	2,746	3,456	4,527

出展：外国人人口は総務省の人口動態調査(翌1月1日時点)
外国人労働者数及び技能実習生数は熊本労働局の外国人雇用状況の届出状況集計結果(10月1日時点)

外国人の人口増加率
上位の都道府県

1	熊本	16.64%
2	鹿児島	15.22%
3	宮崎	14.16%
4	島根	13.42%
5	富山	12.66%
6	北海道	12.55%
7	青森	11.68%
8	沖縄	11.19%
9	石川	10.76%
10	福岡	10.63%

出展：H30.7.12 熊本日日新聞

4 専門校の老朽化

専門校の主要建物の状況(H31.3末時点の耐用年数超過年数)

主要な建物	構造	建築年	経過年数	耐用年数	耐用年数超過年数(年)	
実習棟	自動車車体整備科1年	S	1966年	52	31	21年超過
	自動車車体整備科2年	S	1964年	55	31	24年超過
	自動車車体整備科3年	S	1971年	48	31	17年超過
	電気配管システム科1年	LS	1992年	27	20	7年超過
	電気配管システム科2年	S	1981年	38	31	7年超過
	総合建築科1年	LS	1998年	21	20	1年超過
	総合建設科2年	W	1993年	26	15	11年超過
	教室棟	RC	1985年	34	50	△16年
管理棟	RC	1985年	34	50	△16年	
体育館	RC	1981年	38	50	△12年	
寄宿舎	RC	1976年	43	47	△4年	

5 技能検定試験の安定的実施体制

[参考]

技能検定試験場の設置状況

福岡県	○
佐賀県	×
長崎県	○
大分県	○
宮崎県	○
鹿児島県	×
熊本県	×

技能士育成のニーズ(まとめ)

- (1) 生産年齢人口の減少による労働力不足
- (2) 熊本地震からの復興を担う人材が必要
- (3) 若者のものづくり離れや技能士の高齢化により技能承継の危機

⇒ (ベーシックな分野の)産業人材育成施策の展開が必要